

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南相木村青少年健全育成事業
事業主体 (連絡先)	南相木村青少年育成会 (0267-78-2433)
事業区分	教育、文化、スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,017,760円 (うち支援金: 763,000円)

事業内容

①青少年健全育成講座の開催

長野冬季オリンピック金メダリストの清水宏保氏を講師に迎え、南佐久、佐久地域の子ども達、関係者を中心に努力することの大切さや継続することの意義等を講演していただいた。

時期:平成29年8月27日(日)

会場:南相木村公民館

講師:清水宏保氏 開催時間:13:30~14:30

参加者:南佐久地域及び佐久地域スケート関係者・一般希望者 188名



【陸上トレーニングの様子】

②スケート陸上トレーニング実技指導会の開催

スケート競技引退後、札幌市でトレーニングジムを開設、地域の子ども達のスケート指導をされている経験等から、スケート競技者や指導者を対象に陸上トレーニング実技指導会を開催し、スケート人口のすそ野を広げる機会を設けた。

また、本格的なスケートシーズンの前から適切なトレーニングを積むことにより、シーズン中の怪我を防止し、シーズン通して好成績を残すための身体づくりにつなげた。

時期:平成29年8月27日(日) 会場:南相木小学校グラウンド

講師:清水宏保氏 開催時間:15:00~16:00

参加者:佐久地域少年少女及び県内の指導者 96名

事業効果

【目標・ねらい】

①村内小学生スケート参加者

H28 20名 → H29 30名

本事業の実施に伴い、スケートクラブに属していない子の参加もあったので、スケート競技希望者の増加に寄与したと考える。

- ①地域内スケート人口の増加
- ②競技者の怪我減少・予防
- ③不登校・いじめ防止
- ④青少年の強い心の形成

②指導者も含めて本トレーニングに参加した事で、正しいトレーニング実践方法、知識・技術習得により競技中等の怪我の予防に寄与したと考える。

③我慢強さや仲間意識を学んだことにより、不登校の減少やいじめの減少に寄与したと考える。

④この事業を継続していくことで、自分で考え物事を粘り強く継続できる、また、少々の挫折では挫けない青少年の強い心の形成につながったと考える。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この様な機会を今後も設けて、現在減少している子どものスケートクラブへの参加を推進していくとともに、スケートクラブへ既に参加している子どもには更に高い目標へ努力するキッカケ作りを行っていく。

※自己評価【B】

【理由】

参加した子ども達は、身体的に恵まれなくても、努力により夢を叶えた講師の話に、深く感銘を受けたと思われました。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある